

『あるって くるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで、非営利組織の『アルテクラブ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。ホームページ <http://artecclub.org> では、カラーでご覧になれます。
 ……こんな活動をしています、ご参加ください…… どなたでも参加できますが、会員には特典があります。

アルテクラブ ギャラリー

— 活動のご報告 —

高崎葉子展 [版画]

9月6、7、8、13、14、15日

木版画の高崎葉子さんをお迎えました。テーマは、<風>、水面に立つ風、草原を渡る風、そして、心を吹き抜ける風、『ざわわ、ざわわ、ざわわ』と。もしかすると、「アルテクラブ」への追い風かもしれません。

高崎さんの作品は、一見<模様><パターン>という受け止め方をされるかもしれませんが、伝統の技法と色づかいをしながらも、動きのある連作は、現代を表現するインсталレーションと、受け止めたほうが正解なのでしょうか。爽やかさと、量感に満ちた、高崎ワールドでした。



高崎さん

— これからのスケジュール —

◆ 2001年 アルテクラブ企画展

永井康夫展 [乾漆] 9月27、28、29日 10月4、5、6日
 金土日のみ開廊です!

開廊時間 12:00~19:00 ・川越三番町ギャラリー
 トオープニングパーティー9月26日(木) 18:00より
 柴野さつき&尾島由郎ユニットによる、サウンドパフォーマンス デス!

★作家プロフィール

- 1964 高松工芸漆工芸科卒業・漆工奨学賞を受ける
- 1966~1968 毎年、一陽展入選(漆画)
- 1981 日本クラフトデザイン展入選、父(芳松)を通じて秋月繁氏に影響を受け私淑する。
- 1981~83 毎年、愛媛県立美術館にて個展
- 1983、98 朝日現代クラフト展入選
- 1984~97 毎年、工芸都市高岡クラフトデザイン入選
- 1989 工芸都市高岡 '89クラフトコンペ金賞受賞
- 1990 伊丹クラフト展入選
- 1997 札幌芸術の森ピアマグランカイ展にてベストアート賞受賞

その他、個展多数。

— 乾漆とは —

乾漆の歴史は古く遠く飛鳥時代に起こり、天平時代に塑像の製作技法として非常に発達した。乾漆とは麻布を漆で張り固め、必要な厚みの素地をつくる技法のことで、この方法でつくられたものは軽くて丈夫であり、又、自由な造形が出来る。木材でつくられた素地との大きな違いは、長年使用しても乾燥による収縮、変形が生じたり、亀裂が入ったりしない。

— これからの予定 —

- 国際野外の表現展・小品展 10月25日~11月3日
- 小林とむぼ展 [人形] 11月15日~24日
- 斎藤望展 [絵画] 12月5日~15日

— お知らせ —

<鶴ヶ島切り絵愛好会展>

百鬼丸・切り絵教室の皆さんの作品展です。
 10月16日(水)~20日(日)
 AM10:30~PM8:30
 最終日は7時まで
 ビーポケット(川越アトレ6F 武州ガス)
 TEL 049-226-7063

お問い合わせは、百鬼丸アトリエまで
 TEL/FAX 049-287-1686
 E-mail fmia266@estate.ocn.ne.jp

組詩；孫のアンリ、6才前の唄
第4の唄 アナリカアゼナの花

高橋道弘

ユニクロ3号の松郷タンポに、まわりの水路に、
アナリカアゼナ、北米原産の白い花が咲く。
目の良いアンリにはよく見えて、きれいだと教えてくれた
ぼくも妖精が見えた様、その内アゼナも見たいもの。

青浮草が一面に広がる、ペールの様に、
別名、ちび浮草、この数年ぼくに見えるのは、これだけ
昔見た浮草の大きな姿をもう一度でも見たいのだが、
もっとちいさいミジンコ浮草もいるはずだが、
ぼくには見えない。

えのきグサの花が、咲くかたわら実となり、
赤い花ホが天をさし、実が面白い顔をしている。
のポロ菊が可愛く咲きだしている。
名前をきかれないで助かった。ノグシの残花もきれい。

アンリはフェンスをつたわって冒険に熱中。
よくまあ水路におちなかつたものだ、
254号線の向う側のプールに、どっさりと、
水泳帽の色とりどりの花畑がもりあがる。

あるって くるぶ コンサート

—— 活動のご報告 ——

♪9月5日(木)高崎葉子展オープニングコンサート
パーカッションアンサンブル《パフェ》の皆さんが
登場しました。メンバーは、石川智映子、岩崎理恵、
高橋美智。ラテンから、モダン、クラシックまで幅
広いレパートリーを持つ皆さんですが、今回はくモ
ダンのタベと題して、ウェストサイドストーリー
から「アメリカ」、ドビュッシー「小さなクロンボ」、
ピアソラ「リベルタンゴ」、鮫、二人でお茶を、ミス
ターロンリー、セレスローサ、ティコティコ、エル
クンバンチェロ。パーカッションのよさを前面に出
した現代的なアレンジで、暑〜い夏の宵にピッタリ
でした。演奏者、聞き手ともに、おおいに盛り上が
りました。
[http://www.medianetjapan.com/2/music audio/parfeit/](http://www.medianetjapan.com/2/music_audio/parfeit/)
も、見て下さいネ。



このあと、マリンバの解体を見ることが出来、興味深い
ものがありました。

“本日のめにゆー”《高崎葉子展》

2002/09/05

- なすマリネバルサミコ風味
- かぼちゃのガーリックヴィネガー
- いわしの衣揚げ
- 揚げれんこんのレモン酢
- 鶏肉の干葡萄炒め
- ズッキーニとひき肉の炒めもの
- 白身魚レモン風味の揚げワントン
- セロリとマグロのサラダ

- ごまのセミハードパン
- ローズマリーのケーキ

Food Coordinated & Cooked by CHIAKI

千秋さんが主催する“Chiaki Table Studio”のHP
ができました。スタジオで開かれるイベントや教室の
ご案内などが載っています。美しい写真もご覧になれ
ます。 URL http://www5d.biglobe.ne.jp/~chiaki_t/



—— これからのスケジュール ——

- ♪9月26日(木)永井康夫展オープニングコンサート
柴野さつき&尾島由郎ユニットで、2台のラップ
トップコンピューターを用いて、「対話」するようなサ
ウンドパフォーマンスを繰り広げます。尾島さんによ
ると「永井さんの作品の間に私達の音楽を浮遊させたい」
ということです。おたのしみに！
- ♪10月24日オープニング：ジャズギター
- ♪11月14日オープニング：フルート
- ♪12月 4日オープニング：チェロ

—— お知らせ ——

<越生・里山コンサート>
10月13日(日) 最後のページをご覧ください

—活動のご報告—

★「アルテクラブ」がネットワークしている、他の地域で活動しているグループのお知らせです。

応援してま〜す！

国際野外の表現展 2002 比企くプレ展>テーマ環境
来年度の、本展を控え、プレ展と位置付けられた今年は、2003 展開催のために必要な準備と試行を行います。

会期 2002年11月1日(金)~11月30日(土)
会場 東京電機大学鳩山キャンパス、東松山市内各所、鳩山町内、他

主催 国際野外の表現展実行委員会
共催 We Meet Again 再会プロジェクト実行委員会
協力 東京電機大学理工学部

後援 埼玉県教育委員会、東松山市、鳩山町、他
趣旨 世界各国から集まったアーティストたちによって、野外空間に表現された現代美術の様々な作品を通じ、現在私たち人類が直面している諸問題を顕在化させるとともに、併せて自主的に参画した市民とアーティストの交流を促進し、豊かな感性に基づく創造性豊かな社会の実現を目指しています。

アルテクラブでは、10月25日から始まる「国際野外の表現展・小品展」、アーティストの制作の支援などのボランティアで参加します。制作の現場に立ち会ってみたい方、ぜひご参加下さい。

お問い合わせは、事務局・小野寺 0492-96-2253
<http://www.ioe2002.hoops.jp/>

応援してま〜す！

「越生町・緑とせせらぎを守る会」

県立公園「さくらの郷」計画は、'99年9月、県の財政難により'02年度まで繰り延べされることが決定され、昨年は、雇用促進事業の一環として間伐作業を行っていました。

広葉樹の混合林を目指すべきだと考える「守る会」では、地域住民の合意の形成がなされた上での施策を望んでいます。

「守る会」では、大高取山の自然と人々の生活の共生を目差して、予定地の将来についての提案をすることが必要だと考えています。そこで、

“大高取山自然博物館構想(案)を提案します”

大高取山の自然は越生町の貴重な財産であり、里山としても、人々に親しまれてきた山です。展示施設ではなく、山の自然環境を、野外での自然観察や体験学習の場として活かそう。基本は多様な森づくりと市民参加、基本となる森づくりとは、原生林としての照葉樹林の復元、落葉樹林の活用、スギ、ヒノキ植林のモデル林など。

来年度は、生協より、里山の調査報告書に対しての、助成があります。皆様のご意見をお聞かせ下さい。

お問い合わせは下記まで

代表 中村克彦
事務局 〒350-0415 入間郡越生町上野92
電話 0492-92-2717 俵木栄一
<http://www.seseragi.pos.to>

里山コンサートもぜひ！ 次のページをご覧ください

—これからのスケジュール—

□「アルテクラブ」は、市民の自主的な参加によって、様々な芸術活動やまちづくり運動を自ら企画、運営し、町に住むことを楽しみたいと考えている会です。みなさんのご提案をお待ちしています。

*会場担当ボランティアを募集しています！
アートサポーターとして、参加してみませんか？

9月27日(金) 前半12時~4時、後半4時~7時
28日(土) 前半12時~4時、後半4時~7時
29日(日) 前半12時~4時、後半4時~7時
10月4日(金) 前半12時~4時、後半4時~7時
5日(土) 前半12時~4時、後半4時~7時
6日(日) 前半12時~4時、後半4時~7時

*前回は、小倉さん、新井さん、高桑さん、佐復さん、植松さん、が担当されました。

*会場担当者は時間が拘束されます。参加された方にはポイントがつきます。今までの提供作品会員割引20%に加え展示作品もポイント獲得数に応じて最大30%off(例:ポイント獲得数10の方は10%offとなります)

*お時間のとれる方は、ぜひ、草野まで連絡して下さい。
事務局電話 049-227-8176

E-mail kusano@artecclub.org
携帯 090-3699-0936

<たべ・けんぞうの世界展>RUINS & STARDUST
を見に行こう！

千葉県佐倉市のメタル・アート・ミュージアムで、アルテクラブ企画展初年度の最後に登場して頂いた、たべ・けんぞうさんの展示が始まります。

なにやら虫っぽくなったようです。動いて、光って、フッ！
2002-9.14(土)~10.13(日)

千葉県印旛郡印旛村吉高2465

Tel 0476-98-3151

ご希望の方がいらっしゃいましたら、10月12日(土)川越三番町ギャラリー前より、車で向かいます。事務局まで、お申し出ください。

<第2回川越を描くビエンナーレ> 作品公募

応募締め切り 平成15年3月31日(月)

主催:川越を描くビエンナーレ実行委員会

共催:川越市・川越市教育委員会・川越商工会議所

川越市観光協会・川越政経文化研究会

お問い合わせ先

川越を描くビエンナーレ委員会事務局(川越商工会議所)

〒350-8510 埼玉県川越市仲町I-12

Tel 049-229-1810 Fax 049-225-2101

URL <http://www.kawagoe.or.jp>

E-mail info@kawagoe.or.jp

アルテクラブでは、実行委員会への参加、審査会場運営、展示会場設営・運営のボランティアとして参加しています。

三番町ギャラリー
川越市南通町14-3
電話 049-226-7735

アルテ クラブ 事務局
草野建築設計事務所
川越市連雀町23-10-202
電話 049-227-8176
ファクス 049-227-8178
e-mail kusano@artecclub.org
URL <http://www.artecclub.org>